



問い合わせ

介護高齢課地域包括支援センター ☎53・2111 (内線3432)

コロナ禍で感じた地域の困りごと ～あらかわ互近所ささえ隊活動から～

あらかわ互近所ささえ隊は、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度予定していた会議や活動も遅れての開始となりました。そこで久しぶりに開催された会議の中で、隊員から聞かれた「コロナ禍で感じた地域の困りごと」をお伝えします。

各隊員からは、「コロナ禍で高齢者は閉じこもりが増えている」「お茶の間などの集まりの場や会話をする機会が少なくなった」「高齢者を訪問する際、訪問するきっかけや話題がないと難しいと感じた」との声が聞かれました。

また、「高齢者だけでなく、子どもたちも部活動やスポーツ少年団などの活動が減り、体力の低下やストレスがたまっていると感じる」「人と会う機会が減ったことで、隣に住んでいる人の顔が分からず、災害が起きたら、ど



▲ 名割地区茶の間にて



▲ 坂町地区茶の間にて

う声をかけてよいのだろうかと思う」との声もありました。

このようなコロナ禍だからこそ、ご近所同士の声かけや交流、地域における見守りや助け合いのしくみが大切だと感じます。そのしくみづくりを地域に働きかけるのが、互近所ささえ隊の活動です。地域の状況について聞き取りを行った下鍛冶屋、大津集落の区長からは、「あらかわ互近所ささえ隊の活動について、知っている人がまだまだ少ない」との意見もいただき、早速チラシを作成して、各地域のお茶の間に配布したと語ります。

今後も周知活動を行いながら、荒川地域で安心して住み続けられるしくみづくりのために、働きかけていきたいと思えます。



問い合わせ

自治振興課自治振興室 ☎53・2111 (内線5110) 記事ID 0012601

まちづくり協議会通信 No.10 ～村上地域まちづくり協議会～

城下町ならではの美しい町並みの景観を守る取り組みや伝統文化を継承する取り組み、また、この地域で暮らす人たちの日常的なコミュニケーションの活性化や観光振興の取り組みなど、さまざまな地域の課題解決を目指しています。

活動の拠点施設「村上地域コミュニティ空間 土間ん中」は、例年であれば地域の人はもとより、観光客も多く訪れ、観光案内やお休み処としても広く利用されているほか、住民主体での多種多様なワークショップも開催されています。



▲ 村上地域コミュニティ空間「土間ん中」

城下町村上の個性と支え合いが暮らしの中にあり、 次世代も安心して住み続けられる環境のあるまちづくり

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、ほとんど開催できない状態でしたが、その中でもできる地域のにぎわいイベントとして、令和2年11月28日(出)～令和3年1月16日(出)まで、イルミネーション事業を実施しています。



▲ 景観まちづくり研修会 (まち歩き編)

また、今年度は地域住民参加型の「村上防災運動会」を計画していましたが、これも中止となりました。今後は地域が一体となつてコミュニケーションづくりもできる防災事業に取り組んでいきます。